

和歌山城の観光客への対策

和歌山城

2018年(平成30) 6月29日 金曜日

環境緑化法

天気		
和歌山城	最高気温	平均気温
	29.8	20.2
		最低気温
		10.5

2018/6/9

出展



制度班

植田隆介 勝田壮良
澤井達哉 田中友理
藤原由季 本多将之
松元駿太 矢野成梧

参考文献

https://lms.center.wakayama-u.ac.jp/moodle/pluginfile.php/41893/mod_folder/content/0/
和歌山公園関連都市計画制度資料/和歌山市緑の基本計画v2/和歌山市景観計画/和歌山市景観計画和歌山城周辺景観重点地区

和歌山城に忍者

造になっている。(写真1)

「和歌山城のおもてなし忍者」は、2011年に活動を開始した。和歌山城は敵の攻撃に備えた造りになっているため、階段や傾斜地が多く見られ、そのため足が不自由な人は上まで登ることができなかった。

しかし、和歌山城は史跡に登録されていることもあり、エレベーター設置などのハード面での対応は難しいのが現状だ。

そこで「和歌山城のおもてなし忍者」は登場。ポートを始め、車椅子の方を階段に併設された仮設スロープを使って天守閣の下まで案内できるようにした。この取り組みは市の事業なので、サービスはすべて無料である。

スロープの入り口には忍者の連絡先が書かれており、電話をすることで忍者が来てくれる。「城」は敵からの侵入を防ぐ為に複雑な構造



(写真1)



(写真2)

「子供たちに地蔵様を身近に感じてもらう、地蔵様に手を合わせる」という文化を知ってほしいから」



(折田さんによって整備された地蔵坊)

ボランテアが支える公園

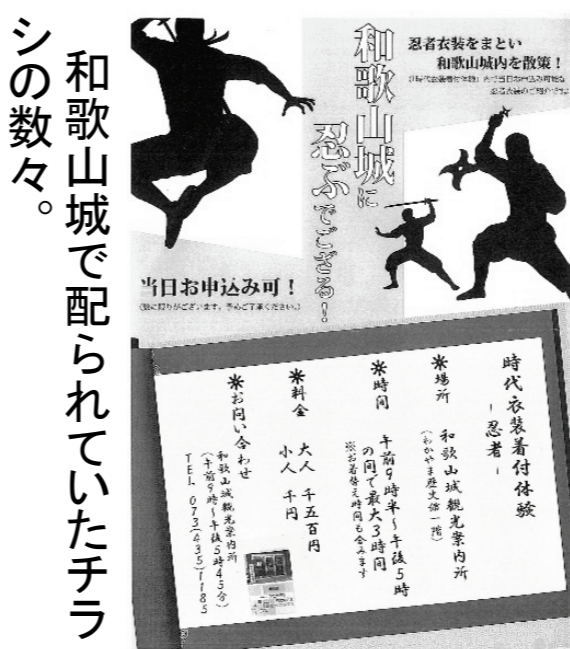
公園内を歩いていると、施設の管理や保全をされているボランテアの方がおられます。その方は園内のお地蔵様の修復をされているところでした。お話を伺いました。

なぜボランテアをされているのか？

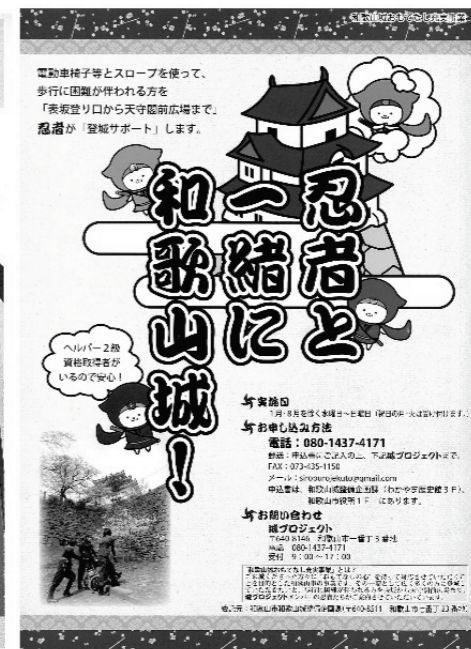
「公園を訪れる人が快適に過ごせるように」

なぜお地蔵様の修復を？

「子供たちに地蔵様を身近に感じてもらう、地蔵様に手を合わせる」という文化を知ってほしいから」



和歌山城で配られていたチラシの数々。



様々な看板 来訪者サポート



禁止案内看板
・ポイ捨て禁止
・ドローン禁止
・自転車、バイク乗り入れ禁止
・ペット放し飼ひ禁止



サポート案内
・善意の杖貸し出し
・身体障がい者、高齢者用優先ベンチの案内



インフォメーション看板
・道案内看板
・市民憲章
・Wi-Fi
・風致地区
・市の取り組みの紹介

和歌山城には至る所にこのような看板が設置されています。景観を保全する為の看板から観光客の為の看板まで、様々な種類のものが見受けられました。

和歌山城周辺の通り別の方針と現状

① けやき大通り
和歌山城と広がりのある堀が一体となった開放性のある空間を意識し、和歌山市のメインストリートとしてふさわしい賑わいと風格を持った街並み景観を形成する。



高さの低い、低彩度の建物が並んでいる。両サイドに松並木が植えられており、特に緑化率の高い通りであった。



② 中央通り
市の幹線道路で城内から連なる緑や石垣、広幅員の道路空間を活かしたシンボリックな道路景観を形成する。

④ 堀端通り
城と広がりのある堀が一体となった開放性のある空間を意識し、シビックゾーンとして相応しいゆとりと潤いのある街並み景観を形成する。

③ 三年坂通り
緩やかな坂の勾配を活かし、堀や石垣との関係性に配慮した見通しの良い、静かな佇まいを感じる事ができる街並み景観を形成する。

検察庁や裁判所といった比較的大きな建物があるが、城や石垣、木の緑との調和を図るよう外壁の基調色は低彩度の落ち着いた色彩となっている。

